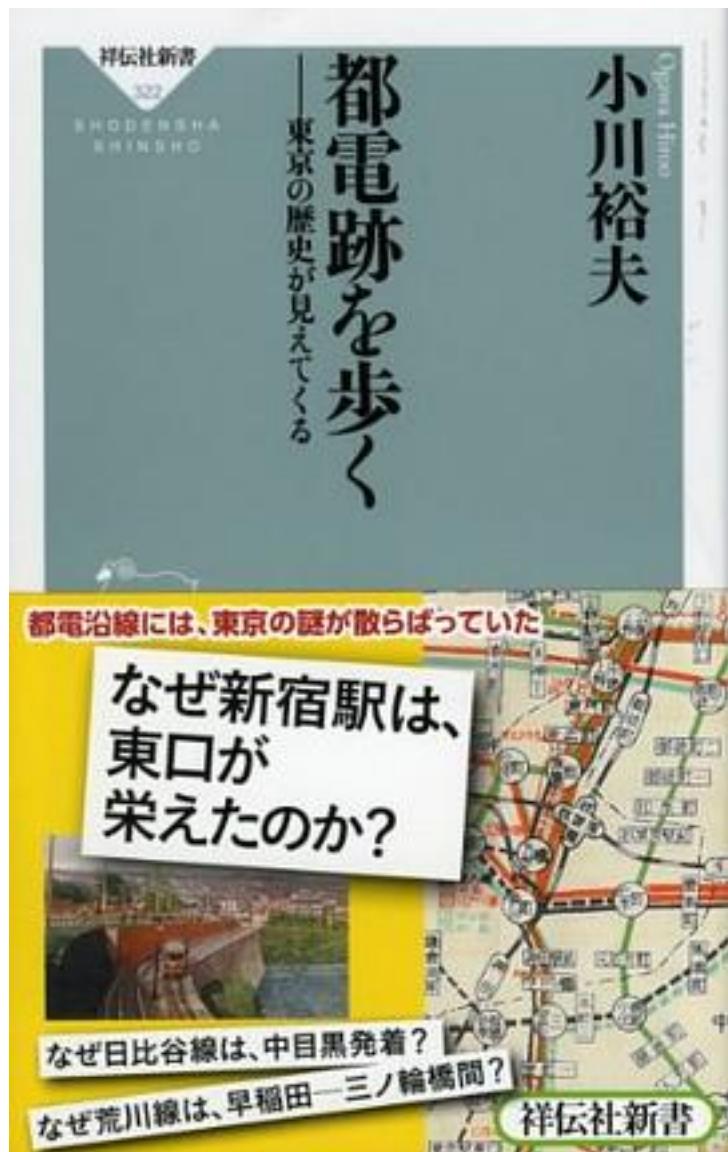


都電跡を歩く 東京の歴史が見えてくる



[都電跡を歩く 東京の歴史が見えてくる 下载链接1](#)

著者:小川裕夫

出版者:祥伝社

出版时间:2013-6-3

装帧:

isbn:9784396113223

都電沿線には、東京の謎が散らばっていた なぜ新宿駅は、東口が栄えたのか?
なぜ日比谷線は、中目黒発着? なぜ荒川線は、早稲田——三ノ輪橋間?
本書が収録する都電の路線

- 1系統 (品川駅前—上野駅前) ——日本の鉄道史そのもの
- 22系統 (南千住—新橋) ——“元祖1系統”だったのに…
- 8系統 (中目黒—築地) ——東京の都市計画を垣間見る
- 13系統 (新宿駅前—水天宮前) ——新宿東口に繁栄をもたらす
- 10系統 (渋谷駅前—須田町) ——電停や路線がコロコロ変わる
- 17系統 (池袋駅前—数寄屋橋) ——池袋を発着したのはこれだけ
- 14系統 (新宿駅前—荻窪駅前) ——唯一、山手線外を西へ向かう
- 18系統など (三田—志村橋) ——都電最長路線
- 荒川線 (早稲田—三ノ輪橋) ——なぜ、生き残ったのか

■都電でわかる東京の近代史

昭和47年、かつて全41路線を誇った都電が、いまの荒川線となる路線部分を残して廃止された。馬車鉄道に始まり、地下鉄やバスに取って代わられた路面電車の歴史は、明治・大正・昭和と大きな変貌（へんぼう）を遂（と）げていった東京の街をみごとに映し出す。本書は、都電史をたどるだけでなく、その形成に関わった他の鉄道、道路、都市計画、産業などにわたって、いくつもの興味深い話を教えてくれる。そこから垣間（かいま）見えてくるのは、東京の発展や復興に賭（か）ける、先人たちの熱意と執念に他ならない。

作者紹介:

目录:

[都電跡を歩く 東京の歴史が見えてくる](#) [下载链接1](#)

标签

東京

旅行

评论

[都電跡を歩く 東京の歴史が見えてくる 下载链接1](#)

书评

[都電跡を歩く 東京の歴史が見えてくる 下载链接1](#)